

中土佐町 第2期地域福祉計画

概要版

平成29年度～平成33年度

安心して
誰もが地域で自分らしく
暮らすことのできるまち



平成29年3月
中土佐町

◆計画の基本事項

計画の趣旨と位置づけ

中土佐町では、平成24年3月に「第1期地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定しました。町内3か所の「あったかふれあいセンター」を地域福祉の拠点として位置づけたことにより、各地域の住民の協力がより一層得られ、地域の実情に応じて住民と協働した活動を行うことができるようになってきました。また、各地域の住民と社会福祉協議会等が情報を共有し、互いに相談しあい、協議できる場ができているとともに、住民の中に地域福祉の担い手意識が芽生え始めています。

その中で、高齢化や核家族化がさらに進むこともあり、住民主体の地域福祉活動をより一層推進するとともに、単に支援をする側と受ける側という関係ではない双方向の仕組みづくりが重要になっています。

本計画は、社会福祉法第107条に規定する中土佐町の「市町村地域福祉計画」と中土佐町社会福祉協議会の『住民参加による福祉活動の推進』を基軸とした活動の展開の指針となる「地域福祉活動計画」を一体的に策定したものです。

計画における地域

中土佐町第1期地域福祉計画に引き続き、地理的状况やこれまでの地域や意識のつながり、生活圏域などから、4地域（久礼・上ノ加江・矢井賀・大野見）を地域福祉活動の基本単位となる「地域」（小地域）に位置づけます。

◆計画の目指す方向

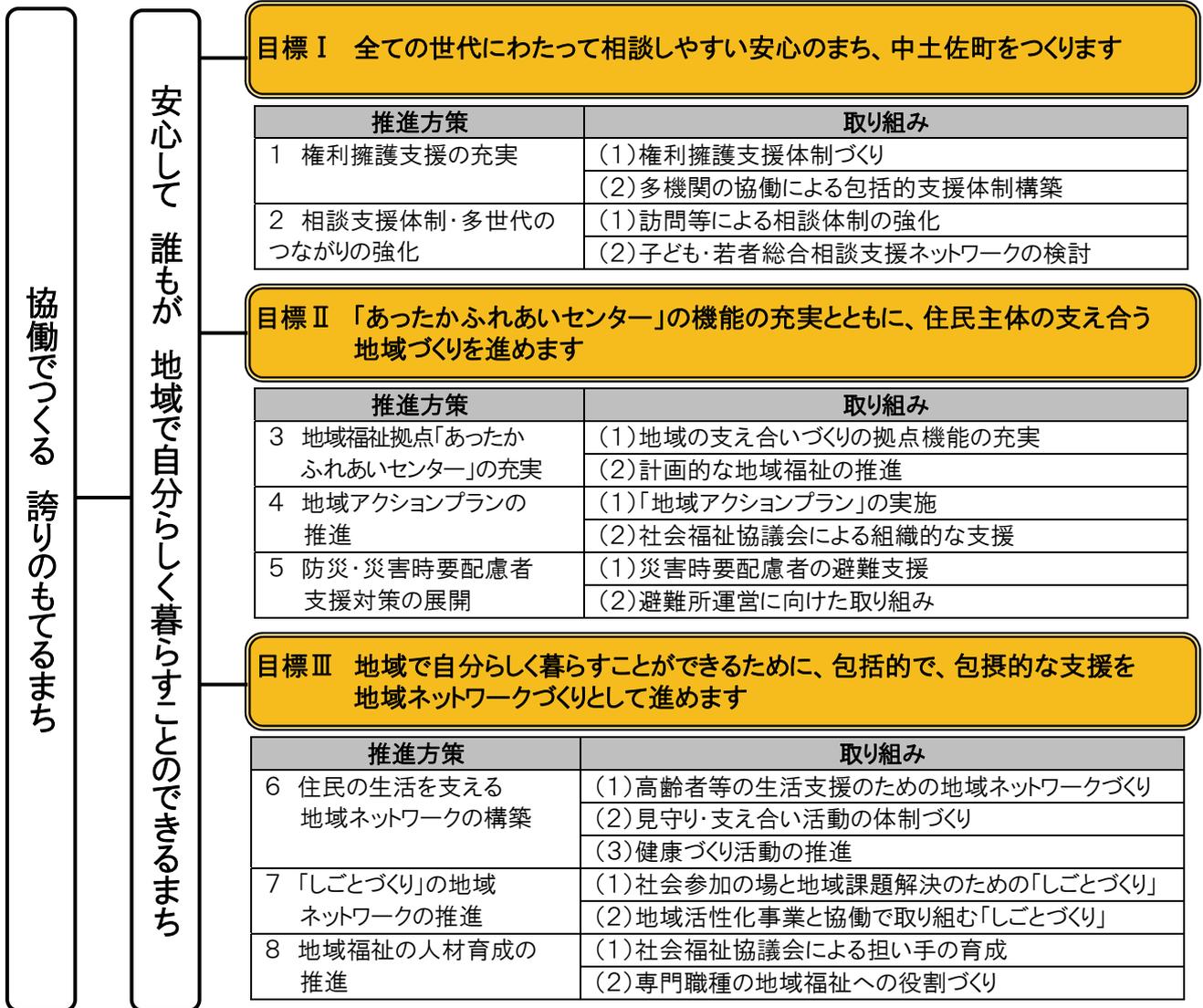
基本理念

協働でつくる 誇りのもてるまち

めざすまちの姿

**安心して 誰もが
地域で自分らしく暮らすことのできるまち**

◆計画の体系



◆計画の推進体制

計画の推進体制

本計画は、行政と社会福祉協議会をはじめとして、地域住民、社会福祉を目的とする事業者、社会福祉に関する活動を行う団体等、様々な主体が協働することにより推進するものです。「地域アクションプラン」は、「あったかふれあいセンター」が各地域の住民と連携・協働を図りながら推進します。

進行管理

本計画を着実に推進するため、「地域福祉計画進行管理事務局会」においてPDCAサイクルによる計画の進行状況の把握・点検を行います。また、「地域福祉計画推進会議」において、他の関係福祉計画の見直しや社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。「地域アクションプラン」は各地域の「地域ふくし活動推進委員会」において、計画の進行状況の把握・点検を行います。

◆地域アクションプラン

「あったかふれあいセンター」が、地域ふくし活動推進委員などの住民とともに4地域ごとに地域課題を整理し、より住民の主体的な活動に向けた「地域アクションプラン」づくりに取り組みました。「地域アクションプラン」に基づき、各地域課題の解決に向けて取り組みを進めていく必要があります。また、全町的な課題に対しても、重点取り組みと合わせて各地域の実情に応じて課題解決に向けて「あったかふれあいセンター」と「地域ふくし活動推進委員会」で協議し、取り組んでいきます。

久礼地域アクションプラン

【第1期地域アクションプランの取り組み】

- アクション1：あったかふれあいセンターの有効活用
- アクション2：「地域活動支援センターI型つどい処」の応援団の立ち上げ
- アクション3：障害児・者版要援護者マップをつくる



【目指す姿】

声かけあい・つながりあい・支え合う まち

【課題】

- ① 南海トラフ大地震が発生した場合、津波浸水被害が予想される地域であるため、お互いが助け合い、支え合うために、自主防災組織の活動や避難訓練を通じて、日頃から隣近所のつながりや顔の見える関係をつくっておくことが重要です。
- ② 子どもを取り巻く厳しい環境により複合的な問題を抱える世帯もあり、今後地域での見守りを通して早期に相談できる体制づくりが重要となっています。
- ③ 各地区には様々な活動団体があり、地域活性化や防災活動、支え合い活動に取り組んでいますが、活動の担い手は不足している状態で活動の継続や展開、新規の取り組みが進まないことがあります。そのため、新たな担い手の発掘が必要です。



【重点取り組み】

1	誰もが参加しやすい防災活動を展開します	小地域単位で進める防災に関する取り組みと協働し、参加しづらい住民が参加できるように防災・支え合いマップ等を使って取り組みます。(小地域ケア会議)
2	小地域単位で地域の支え合いネットワークをつくります	日ごろからできるつながりづくりや見守り支え合い活動を小地域単位で進めていきます。多世代の交流の機会を増やし、日頃から声をかけあったり子どもたちを見守っていく活動につなげていきます。
3	地域福祉の担い手づくりをします	現在地域で行っている様々な活動や①②の取り組みを通じて、地域に関心を持ち協力できる担い手を増やしていきます。

上ノ加江地域アクションプラン

【第1期地域アクションプランの取り組み】

アクション1：あったかふれあいセンター「寄り家」の有効活用

アクション2：空家・見守りマップをつくる

アクション3：生活支援のための見守りネットワークづくり



【目指す姿】

目くばり・気くばり・思いやりのまち上ノ加江

【課題】

- ① 地域福祉の活動には、多忙や関心の低さから若い世代の参加が少ない状況です。現在活躍する住民は何役も担い、ボランティア団体や組織自身も、人材不足や活発な活動が十分にできない現状があります。
- ② 公民館活動や地域の行事が活発に行われている一方で、地区や常会単位で活動する行事や集まり等が十分にできず隣近所とのつながりが希薄化しているところがあります。
- ③ 今後、人材不足から高齢者支援等に対し、地域で支え合えることができなくなる恐れがあるため、個々でのいざという時（地震含む）の備えが、日頃から求められます。



【重点取り組み】

1	小地域ケア会議に若手（20代～60代）が参加できるよう取り組みます	これまでやってきたマップや見守り、訪問等を継続・発展させていくため、多世代交流や既存の様々な行事をきっかけに、仲間づくりや新たな人材の発掘と育成をしていきます。
2	それぞれが役割を担える生きがい活動に取り組みます	地域のつながり強化や高齢者の健康のため、地区や常会の行事や伝統を次の世代へつないだり、趣味や特技を活かしたりできる機会をつくり、一人一人が役割を持つことで生きがいにつながる活動をしていきます。

【今後検討していくこと】

・個々の困りごとに応じた支援

関係機関等様々なところと協力しながら、みんなで支え合えるよう支援していきます。

・地域での子育て

大人から子どもに声をかけたり、昔の体験や伝統を伝えたりする機会を増やし、地域みんなで子どもを育てていきます。

矢井賀地域アクションプラン

【第1期地域アクションプランの取り組み】

アクション1：矢井賀高齢者コミュニティーセンターの有効活用

アクション2：「つながる安心カード」の普及

アクション3：「男のチカラ見せますプロジェクト」の推進



【目指す姿】

人とひと絆深める安心の里

【課題】

- ① 人口の減少や高齢化は年々進行しており、今後、担い手不足から個々の生活課題を地域でカバーできず、住民同士の助け合いが行われなくなる恐れがあります。
- ② 隣近所とのつながりが希薄化せず、住民同士の助け合いを続けていくため、今後も、住民同士のつながりを強めることができる、これまでの活動を継続していく必要があります。
- ③ 今後起こり得る地震に対し、あきらめや対策意識の低い声や行政等の支援や整備をうまく活用できていない住民もおり、災害時の支援を要する高齢者の増加が予想されますが、いざという時の個々の備えが日頃から十分にできていません。



【重点取り組み】

1	住民によるサテライトの充実	集まる場所がみんなの使いやすい場所になるよう話し合っていきます。そして、地区の交流やつながりづくりを大切にしながら、みんなが参加できるような場にしていきます。
2	マップやカードも継続しながら、見守りの強化に取り組みます	小地域ケア会議で、マップやカードのことも見守り意識を持って話し合いながら、いざという時にお互いが支え合えるようにしていきます。特に独居高齢者に対しての見守りに力を入れていきます。
3	現在行われている行事の継続と充実	これまで地域で行われてきた運動会や盆踊りなどの行事を続けていながら、若手も巻き込めるよう話し合っていきます。

大野見地域アクションプラン

【第1期地域アクションプランの取り組み】

アクション1：「つながる安心カード」の普及

アクション2：あったかふれあいセンター「ほのぼの大野見」の有効活用

アクション3：地力隊の活動の推進



【目指す姿】

結いの精神が引き継がれる里

【課題】

- ① 人口減少と高齢化が顕著に現れ、これまで自然な形でできていた地域での支え合いや見守りの関係が保たれにくくなり、将来的にも危惧されています。
- ② 加齢に伴う身体機能や認知機能の低下から閉じこもりがちになる高齢者が増えています。移動手段の確保や外出することに対して消極的になる高齢者も多く、悪循環な生活習慣からさらに機能の低下を招く恐れがあります。
- ③ 地域を支えてくれる団体は多いですが、新たな担い手づくりや若い世代の加入が見込めず、活動範囲が縮小され継続できなくなってきている活動や地域行事が増えています。



【重点取り組み】

1	小地域ケア会議の展開	「つながる安心カード」の小地域ケア会議（事前事後会議）を通じて住民同士や地域での見守り・支え合いを推進していきます。 また、各地域の課題を出し合い、解決に向けて取り組みます。
2	高齢者の生きがい・健康づくり	趣味や特技を活かしながら高齢者が地域で活躍できる場を考え、住民同士が積極的に声をかけ合い、生きがいや健康づくりの取り組みに参加できる機会をつくります。
3	地域福祉の担い手育成	若い世代の地域福祉への巻き込み・担い手育成に取り組んでいきます。若い世代が所属し、活動する既存の団体や企業等を巻き込みながら若い世代の意見や参加が得られる場や協力体制づくりを行います。



中土佐町

●発行日：平成29年3月

●発行者：中土佐町健康福祉課

〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 6584-1

TEL:0889-52-2662・FAX:0889-52-2432

<http://www.town.nakatosha.lg.jp>

社会福祉法人 中土佐町社会福祉協議会

〒789-1301 高知県高岡郡中土佐町久礼 52番地 2

TEL:0889-52-2058・FAX:0889-52-3898

<http://www.nakatosha-shakyo.or.jp>